

ボランティア特集

病院ボランティア30周年を迎えて

神戸市生活指導研究会
会長 田中 智子

私達の会が病院ボランティアを始めてから30年を迎えます。1回が数時間というささやかな活動ながら、振り返ると30年の間には様々な思い出も残っています。

当時、私達は「生研」活動の柱である「学習」の諸部門のうちの余暇と福祉グループで、これからの高齢化社会の中で何か貢献できる途はないかと模索しておりました。細かく言えば、人との出会い・人の輪を大切に・心豊かにより楽しい社会福祉の輪を拡げるための方策を探る中から「病院ボランティア」が生まれました。

経緯的には、昭和49年に当会の浅野晶子前会長が、日本病院ボランティア協会の故広瀬天佐子前会長から甲南回生病院をご紹介頂いたのが起点となりました。

その翌年からは県立こども病院でのお手伝いが始まり、更に62年には西市民病院へも何うようになりまして。この活動の中身も当初の病室カーテンの縫製やおむつ計量、今も続くおしぼりたたみから始まり、院内案内・入院児のお世話や図書の読み聞かせ、カルテのセット等こまごまと拡がりました。

その後、甲南回生病院は入院廃止となったため、私達は9年の実績で撤退いたしました。県立こども病院、西市民病院では今もお世話を続けさせて頂いております。

何彼と行き届かぬ事ながら、私も会員30余名と共に両病院でのボランティア活動を、患者の皆様のご快癒を祈りつつ努めさせて頂いております。この細やかなお手伝い——1人1人のボランティアでの小さな輪を40年・50年と途切れる事なく少しずつでも拡げて行けるよう私達自身も健康に留意して頑張っていきたいと願っております。



●なごやかに作業中で～



笑ってよ こどもたち

こども病院ボランティア
坂田 美知子

こども病院の玄関を入ると、そこにエプロンをしたボランティアが立っているのにお気づきでしょうか。病棟で入院中の子どもたちと楽しく遊んでいるボランティアを目にされたことがおありでしょうか。わたしたちは、この病院でのボランティアを始めて3年を迎えています。

外来では、初診手続きのための説明や代筆をしたり、検査室まで荷物を持ってご案内したり、一緒について来ている子どもさんや赤ちゃんのお世話をしたり、時には絵本の修理やおもちゃの片付けなどもしています。人の手をかりたいときに、いつも同じ場所、同じ時間に援助をしてくれる人がいるということは、来院される方にはとても心強く、安心できることではないかと思えます。その「ちょっとしたお手伝い」をするために、外来の入り口に立っています。

病棟では、赤ちゃんを抱っこしたり、ベッドサイドで遊び相手になったり、絵本を読んだり、ゲームをしたりして、楽しく一緒に遊んでいます。でも、一人一人の子どもの病状や体調、治療への気遣いは欠かせません。子供の発達、興味に合った

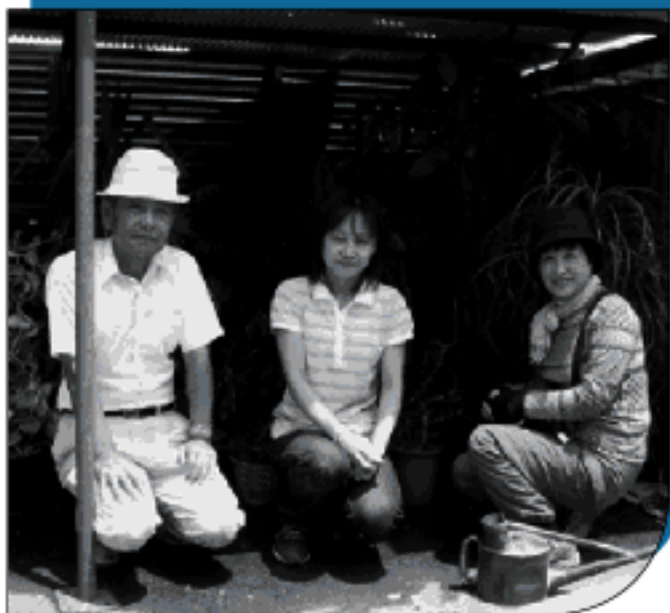
● パズルしよう！これはどうかな？？



遊びを探したり、その難しさに戸惑いながらも、一日の生活の中で「ああ楽しかった！」と子供たちが一瞬でも思ってくれることを願っています。ボランティアは時間に追われることなく、子供たちをゆったりと抱き、思いゆくまま子どもとの遊びに関わることができます。ひとときの子どもの満足感が、入院中の子どもたちにとって、かけがえのない心の安らぎになってくれることを祈っています。それはまた、子どもたちが積極的に治療を受け入れていけるためにも、とても大切なものだと思います。

医師でもない、看護師さんともちがう、病院ボランティアの働きが、子どもたちの安らぎと心から笑える時間を作り出せるように、そして子どもの笑顔が付き添うお母様にとって日々の励ましになればと願いながら、子どもたちのところへ通っています。

● 園芸ボランティアの皆さん



● フィーリングアーツでいやしの時をくださったボランティアの皆さん



アメリカでの体験

兵庫県立こども病院 整形外科 薩摩 真一



TSRHC
TSRHC
TSRHC

What's
new
in the
hospital?
診療科トピックス

昨年の5月に米国における小児整形外科専門病院の1つであるTexas Scottish Rite Hospital for Children (TSRHC) をオブザーバシップフェローとして訪れる機会がありました。所在地はダラスのダウンタウンから車で北へ10分ほど郊外にあります。(写真1)



病院のゲートから建物にいたるまでの広大な前庭は芝生におおわれておりちょっとしたボールゲームでもできそうなくらいです。(写真2)



設立は1921年、当時多かったポリオ患者の窮状を見かねて土地の資産家たちが寄付する形でできたようです。この設立の趣旨は現在でも引き継がれており病院は主として個人からの寄付金を集約して成り立っており、一方的貢献という面から

は多数のボランティアが院内のいろいろな雑用を引き受けています。例えば外来の受付業務はすべて彼らが担当しており、(写真3)



レントゲン写真や検体の搬送、あるいは入院している子供たちのお楽しみ会の企画や実行など細やかな事を一手に引き受けます。ひとことで言うと医療関係者と患児やその両親たちをしっかりとつなぐ連結器のような役割を担っています。そのシステムもしっかりしており、院内の一角には外部からの申し込みに対して受付と登録を行うボランティアサービスルームが設置されていました。(写真4)

ある日その部屋の前を通りかかるとダウン症と思われる20代ぐらいの男性が受付におられました。「彼はここでどんな介護を受けるんですか？」と私が聞くと受け付けの人は「彼がボランティアとしての登録をされているのです。彼は彼のできることで子供たちに奉仕するのです。」まさにこれがボランティア精神なのです。



ある日その部屋の前を通りかかるとダウン症と思われる20代ぐらいの男性が受付におられました。「彼はここでどんな介護を受けるんですか？」と私が聞くと受け付けの人は「彼がボランティアとしての登録をされているのです。彼は彼のできることで子供たちに奉仕するのです。」まさにこれがボランティア精神なのです。

「励ましの心を伝えたい」 メッセージカード作成

栄養指導課長 下浦 佳之



夏号の「げんきカエル」は「病院ボランティア」特集ということで、栄養指導課にご協力頂いているメッセージカード作成のボランティアについてご紹介させていただきます。

当院において行事食を彩る工夫の一つとして、お正月や節分、バレンタインデー、ひな祭り、こどもの日、七夕、ハロウィーン、クリスマス等の行事、また土用の丑、冬至などの季節の節目にメッセージカードを食事に添えています。

最近のメッセージカードにおいては右上の写真のようにお正月には「縁起凧」、ひな祭りに折り紙の「ひな人形」、こどもの日には折り紙の「兜（かぶと）」、クリスマスにはブーツの中からサンタクロースが・・・とできるだけ立体的に楽しめるカードをひとつひとつ心を込めて手作業で作成しています。

ここで活躍して頂いているのがボランティアの方々です。とはいってもご本人達はボランティア

という感覚ではなく、「患者様に喜んでいただければ・・・」「大変だと考えたことはありません自分も楽しんで作っています。」「わたしに出来ることから・・・」とご協力頂いております。

例えば「縁起凧」に関しては材料の竹の切り出しから、文字の手書きまですべて手作業でされておられ、プロ並みの腕前です。折り紙なども自宅で子供達と一緒に折られています。

メッセージカードの作成に当たっては「入院患者様に励ましの心を伝えたい」という思いがカードから感じられるよう努力しています。そして「奇跡のメッセージ」として届くように・・・。

放射線治療を心理面からバックアップ

平山 浩一

放射線治療は小さいお子さんには精神的、肉体的にかなりの負担になります。その負担を心理面から少しでも軽減させることが出来れば迅速、正確且つ安全に、より良い放射線治療が出来ると考えます。

治療室にはキャラクターの写真を貼り、好きな音楽を流し、好きな話題で話をし、心を開いてもらうよう心がけ、ご家族の方に監視モニターを見ながらマイクでお子さんに声かけ等の協力をお願いします、安心感を与えるようにしています。

そして子供達には放射線治療を達成していく意欲、満足感を持っていただくため達成カードを作っています。これはジグソーパズルだったり、すごろくゲームだったりします。お子さんの好きなアニメキャラクターを使い、パズルなら1日1ピース、すごろくなら1日1コマずつシールを貼り、治療

最終日に完成、あがりとなるように作られています。

これからもいろんな心理面のバックアップの方法を考えていきたいと思っておりますので、ご家族、看護師の皆さんのご協力よろしく申し上げます。

● ボランティアのお願い

現在、達成カードは放射線科看護師により作られています。かなり苦勞しているように思います。そこでこのカードの作成をボランティアの方々に手伝っていただけないものかと思っています。よろしければご協力をお願いいたします。

達成カード



Notice
From
Dietician
栄養指導課案内

Memorandum
From
検査・放射線部門
Radiology
ひろくメモ



Note from Lab 検査部門からのお知らせ

今回は検査部門から、検査結果参照システムについてお知らせいたします。

検査部門では平成15年11月より生化学自動分析装置の更新に伴い検査部門内のシステムを一新いたしました。検体検査系のみのシステムですが、血液検査、生化学検査、血清検査、一般検査について、検体受付から報告書作成、検査結果管理まで行っています。平成16年5月より臨床側端末で検査結果をWEB上で閲覧できるシステムの環境整備が完成し、運用開始いたしました。検査部内のデータサーバーに測定結果が登録されますと瞬時にWEBサーバーにもデータが転送され、閲覧用端末で結果が閲覧できるようになります。

外来からでも病棟からでも、いつでも24時間検査結果を手元の端末から閲覧することが可能です。時間外でも、検査結果（総合成績書）が届いていなくても、検査が終了していれば、検査結果を検査室に問い合わせさせていただくことなく、確認していただけます。

操作方法は、お知らせ済みですが、もう一度ここで紹介します。

「検査結果WEB参照」のショートカットをクリックし、WEBに接続します。ID、パスワードを入力しシステムにアクセスします。進捗モニタをクリックしますとオーダーした患者様氏名が受け付け順に一覧表示されます（至急検体が優先表示されます）。結果を見たい患者様をクリックすると検査データが表示されます。時系列表示を選択すると、過去のデータを見ることが出来ますし、プリントアウトすることも可能です。また、進捗モニタからの一覧表示でなく、患者様IDを入力し検索することで目的とする患者様の結果が一発表示されます。この方法で細菌検査のMRSAの結果を調べることが可能です。

アクセス件数を見てみますと、5月は中旬からの運用開始でしたので19日間で延べ237件。6月は620件と急増しました。今後とも多くの先生方にご利用いただけますよう、ご不明な点がございましたら検査部までお問い合わせ願います。

セントジョーンズワート (セイヨウオトギリソウ) と 相互作用のある医薬品について

先日、患者様のお母様から「お薬の説明用紙にセントジョーンズワートと一緒に薬を飲まないでくださいと書いてありますがこれは何ですか？」とのご質問を頂戴しましたので今回はセントジョーンズワートについてご紹介します。

(表) S J W含有食品との併用に関する注意が記載されている医薬品 (当院採用医薬品のみ)

	商品名		商品名
血液凝固防止薬	ワーファリン錠	抗てんかん薬	アレピアチン散10%
免疫抑制剤	プログラフカプセル0.5mg・1mg		アレピアチン注250mg
	プログラフ顆粒 0.2mg		テグレート細粒、錠100mg・200mg
	プログラフ注射液5mg	10%フェノバル	
強心薬	ジゴシン錠0.25mg・0.125mg		フェノバル散10%
	ジゴシンエリキシル		フェノバルエリキシル0.4%
	ジゴシン注		ワコピタル坐剤15・30・50・100
気管支拡張薬	テオドール錠50mg・100mg	抗不整脈薬	リスモダンカプセル50mg・100mg
	テオドールドライシロップ		リスモダンP注
	ネオフィリン末		静注用キシロカイン2%
	ネオフィリン注		硫酸キニジン

参考) 医薬品・医療用具等安全性情報160号

● 健康食品の名前がセントジョーンズワート(セイヨウオトギリソウ)でなくても、それが成分として含まれている場合があります。健康食品を購入される際は、必ず成分表示を確認してお買い求め下さい。

Correspondence From Pharmacy 薬剤部通信

今回の指導相談部門ニュースでは、
入院中のお子さまがいつもお世話になっている
わらび学級の先生より、
学級の様子を紹介していただきます。

わらび学級

神戸市立友生養護学校訪問
教育部(わらび学級) 岡 圭子

「こんにちは」。今日もわらび学級の先生達が、
こども病院へ入院中の子ども達のベッドサイドを
訪れています。

重い病気で長く入院したまま、友生養護学校へ入
学した子ども達。入院はそんなに長くはないけれ
ど、治療が一段落すると学校のことが気になり、
勉強を教えてもらいたいなと望む子ども達。そん
な子ども達のところへ訪問指導しています。

小学部、中学部、高等部があり訪問は週に2~3回、
1回2時間で一人ひとりに合った指導をします。
神戸市東灘区にある友生養護学校に入学か、転校
しなければなりません、元の学校の教科書で学
習します。

こども病院だけでなく、神戸市内ならどこの病院
へもでかけていきます。外泊や退院してもまだ学
校へは行けない時、自宅が神戸市内であれば、家
へも訪問します。

春と秋には、校外学習もしています。本校(友生
養護学校)での体育会や文化祭にも参加したり、
作品を展示したりします。

治療は苦しいし、しんどいし、不安もいっぱい。学
校のことも気になる。そんな子ども達といっしょに
前の学校と連絡をとりつつ、学習を進めています。



お家でもがんばっています😊😊😊。



絵の具で混色遊びをしたよ♪♪♪♪♪。

とてもつらそうに見えるときでも、得意な科目だ
と取り組めるし、大好きな図工や手芸などは一時
でも痛みを忘れさせてくれるようです。そばで見
ていて、子ども達のもつ不思議な力を感じることが
あります。

そんな子ども達と過ごす時間は、私達教師にとっ
ても楽しい大切なわらびの時間なのです。

※わらび学級へのお問合せについては指導相談部
までお願いします。



おめかししました***

8月3日(火)に毎年恒例の「夏まつり」が行なわれ
ました。今年のテーマは「オリンピック!!」
こどもたちが選手になって、ヨーヨー釣りや重量あ
げなどのいろいろな競技にチャレンジしました。
参加した64名のこどもたちは夏まつりの雰囲気
を楽しんでいました。 保育士 中本早苗



家族でお祭りだ♪♪♪♪♪



ヨーヨーつれたよ!!



おばあちゃんと一緒に♥♥♥

News
指導相談部門からのお知らせ
the consultation

夏
まつり



高額療養費制度について

1ヶ月の医療費が、自己負担限度額を超えた場合、保険者から返金される制度です。

区分	自己負担限度額（1ヶ月）
上位所得者（標準報酬月額56万円以上）	139,800円+（かかった医療費-466,000円）×1%
一般	72,300円+（かかった医療費-241,000円）×1%
低所得者（住民税非課税）	35,400円

- 入院費用と通院医療費は別計算となります
- 保険適用外医療費（薬の容器代等）や入院時の食事代・被服等使用代は、医療費に含まれません。
- 出産の際の分娩費用等は、保険適用外となるため、当制度には該当しません。
ただし、出産日までの入院費用や、帝王切開を伴う入院費用は、保険適用となるため、当制度の対象となります。

次の場合、医療費に加算することができます。

- * 同月に、入院と通院がある・・・それぞれが21,000円以上となる場合
- * 複数の病院にかかっている・・・各病院の医療費が21,000円以上の場合
- * 同じ保険に加入している家族（親子・兄弟等）の医療費・・・それぞれが21,000円以上の場合。

該当される方は、領収書を持参の上、加入されている保険の窓口で申請をしてください。

保険種別	窓口
市町村国民健康保険	市区役所の国民健康保険係
政府管掌健康保険	保険証に記載されている社会保険事務局（所）
組合・共済保険組合	会社・事業所の健康保険担当者

- * 組合・共済保険に加入されている方は、申請をしなくても自動的に返金される場合があります。担当者にご確認ください。

また、病院での支払いを自己負担限度額までにすることができる、高額療養費貸付制度もあります。医療費・制度に関するご質問は、医事課でお尋ねください。



つれるかな~♪♪♪♪



見て見て、はじめての〈ゆかた〉だよ



お父さんつれたよ~



へっっ...きれいなものつれた





基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成長を目指します。

基本方針

- 1.子どもの権利を重視した医療の実践。
- 2.安心と信頼の医療の遂行。
- 3.専門的な高度医療の推進。
- 4.地域の医療・保健・福祉機関との連携。
- 5.親と子の健康啓発活動への貢献。
- 6.子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成。

患者権利宣言

- 1.あなたはひとりの人間として尊重され、おもいやりのある医療を受ける権利があります。
 - 2.あなたとご家族は、理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を得て、治療計画に参加する権利があります。
 - 3.あなたとご家族は、医療について同意や拒否の権利があります。
 - 4.あなたとご家族のプライバシーは守られます。
- ◆みなさまと私たち職員がお互いを尊重しあい、良質な医療を実現していけるよう次のことにご協力ください。
- 病気について理解し、安心して医療が受けられるよう、今までの経過・病状の変化や問題について詳しく正確にお知らせください。
 - 病院のきまりや約束ごとをお守りください。

編集後記

猛暑、酷暑、炎暑、あつっ～、どのように形容すればいいのでしょうか、今年の夏。各地で記録的な暑さとなっていますが、皆様方におかれましては夏バテもせず頑張っていることと思います。今季号の編集を担当しました正井です。編集担当といっても名ばかり、行（ゆき）さんに“おんぶに抱っこ”本当にありがとうございました。今季号は「病院ボランティア」特集ということで原稿をお願いしたところ、各部署から様々な話題を

寄稿していただきました。おかげさまで内容も充実、楽しい紙面が出来上がったと思っています。ボランティア活動をされている方々への感謝の気持ちをこのニュースレターを通して伝えられれば幸いと、スタッフ一同考えています。次期号の編集は箕浦が担当します。どうぞお楽しみに！！

兵庫県立こども病院広報誌編集委員会

大橋正伸 斉藤富美代 正井秀幸 箕浦洋子 村田和歌子 行祥子

本誌に関するご感想、ご希望、ご質問はこちらまで。

兵庫県立こども病院

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
TEL078-732-6961 FAX078-735-0910

URL:<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>

E-MAIL:info_kch@hp.pref.hyogo.jp